

令和4年3月7日（月）朝礼

一羊館施設長 桑原英真

コロナが蔓延し尽した今、これからの私達の生活のあり方は、

今や日本中、全国に蔓延し、群馬県は其中でも酷い方に入ります。蔓延防止処置も群馬県は3月21日までの更なる延長もされました。

私たちは、ステイホームに代表される表面的な対応からはそろそろ脱却する時期です。もともと屋外に出ないようにという意味ではありませんでしたが、これまでそのような表面的な意味の捉え方をされました。そろそろ**感染対策の本質**に戻る時期です。

本質とは、マスク着用、黙食、手指衛生、換気、ソーシャルディスタンス、3密回避、を守る新しい生活様式です。

ですから、車で移動して移動先でも、その本質を守る限り、日本国内何処に行っても問題ありません。但し、他人からは群馬ナンバーを咎められるかもしれません。

また、電車や飛行機ではリスクが発生しますので**5日ルール**が必要かもしれません。

どちらも、周りから咎められないように、しかも本質を厳守した行動、をとることが大事です。

この本質を守っていれば過度の心配はありません。遠慮することはありません。堂々としていればよいのです。

これは言い換えれば、上記本質を決して忘れてはいけない、ということでもあります。

群馬県側からも、もしCOVID-19患者が発生してしまったら自分たちで見る覚悟を持ってくださいとはっきり言うようになりました。少なくとも数日は自施設で見るしかないという心構えを私たちスタッフ全員が持つ覚悟が必要になったことは既にお話ししました。

当館においては、コロナワクチン注射の3回目も、希望対象者は2月中旬で既に終わりました。

但し、ほぼ1/3の入所者は今でも3回目を行っていない事、もともと体力が衰えて風邪でも命に影響する方が少なからず入所している事、これも忘れてはいけないことです。

これらを理解した上で、過度に窮屈にならない生活様式に切り替えて生きましょう。

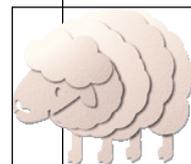
迅速な情報共有と多職種協働で、スタッフみんなで、一連托生のコロナ対策を乗り切りましょう。

老人保健施設一羊館の理念

利用者の方々すべてに**尊厳・安心・満足**を！

一羊館の行動指針

私たちは、保健・医療・福祉の架け橋のプロに徹します。
私たちは、利用者の**QOL**・職員の**QOL**・健全経営の**3立**を目指します。
私たちは、質向上のために日々の小さな工夫を忘れません。



話合いの3原則：

- ①相手の意見は決して否定しないでしっかり聞きます。
- ②自分の意見はしっかり言う。ポジティブ表現で言います。
- ③正解は一つではないことを自覚して自制します。